

国見町は、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを生かした「歴史まちづくり」を進めています。このコーナーでは町や地域が行っている取り組みについて、毎月お伝えしています。

【あつかし歴史館 ☎ 585-4520】
【企画調整課地域振興係 ☎ 585-2967】



Vol.112

9月23日の「義経まつり」に合わせ、歴史文化を楽しく学ぶイベントを開催しました！

（一財）民族衣装文化普及協会福島支部・伝統文化みらい協会 Presents 浴衣で散歩&伝統文化体験ワークショップ

伝統文化である日本舞踊と浴衣のワークショップが、民族衣装文化普及協会と伝統文化みらい協会の協力により開催されました。

午前・午後の2回に24名の方が浴衣を着付けし、義経まつりを浴衣で楽しむ様子が見られ、イベントを盛り上げてくれました。

ワークショップでは、着付け参加者へ歩き方・座り方の所作指導から、扇子を用いながら日本舞踊の踊り方を学び、さらに深い体験をすることが出来ました。



▲日本舞踊を楽しむ様子

郡山女子大学 presents 「国見たてもの探検」 in 奥山家住宅

毎年多くの見学者が訪れる国登録有形文化財「奥山家住宅」の一般公開は、昨年から郡山女子大学の長田城治准教授と学生による展示やワークショップを合わせた「国見たてもの探検」として開催し、町内外から約370名の方が見学しました。

大学生による「建物ガイドツアー」や、13年間にわたって国見町の建物調査を続けてきた成果にもとづく「パネル展示」、さらに親子で楽しめる木製デコマイバンクなどの「ものづくりワークショップ」には、約100名が参加し、楽しく学べました。

国見町の近代化を牽引した奥山家住宅の魅力は、近年の調査によって建築様式や設計者の情報がさらに解明されつつあります。最新の成果とともに公開する貴重な機会となりました。



▲建物ガイドツアーの様子 浴衣を着た参加者も



▲工作ワークショップで作成した貯金箱

— Activity Report —

Vol. 64

地域おこし協力隊活動日記



桃の収穫作業に取り組む安藤さん



大きく、きれいに育った桃



一つ一つ丁寧に収穫

あんどう しょう
安藤 祥

農業部門

4月から国見町地域おこし協力隊（農業部門）として活動している安藤祥です。大好きな果物を自分の手で育てたいという思いから、長年勤務したアミューズメント業を離れ、農業の道を選びました。現在は先輩農家さんのもとで、桃などの栽培技術を一から学んでいます。国見町で農家として独立し、自分が育てたおいしい桃を全国の皆さんへ届けることが目標です。



桃の栽培を学んでいる日沼さん



出荷に向けて丁寧に箱詰め



国見の桃を出荷

ひぬま りゅうじ
日沼 竜児

農業部門

6月から国見町地域おこし協力隊（農業部門）として活動している日沼竜児です。活動を始めて4カ月ほどが経ちました。現在は町内の農家さんのもとで、就農に向けて様々な品種の桃を育てながら、栽培方法を学んでいます。品種ごとの特徴や栽培のポイントを一つ一つ身に付け、皆さんに「おいしい」と喜んでもらえる甘い桃を育てられる農家を目指していきます。